

## 答弁

沿線住人の悲願として開通した路線であり、交通弱者の交通手段である。また観光振興、まちづくりなど重要な役割を担っていることから存続に向け努力している。

知事との会談で平成22年度を用途に2億円の計上損失、その後24年までに1億5000万円とする5年間の新たな計画にむけて努力を続けることと合意した。なお経常損失額を越えた部分は基金から補てんする。



存廃問題に揺れる秋田内陸線!!

## この人にインタビュー



阿部純栄さん  
仙北市角館町雲然田頭33

### 転作と助成

今年もテレビ新聞等で転作に協力しない農家が多く過剰作付、そして作況指数もやや良で米余りで価格が下がる様な事が報道された。

先日全農が昨年の米価より1000円アップと発表したが、今年の物価高では農家としては喜ぶ事は出来ないと思う。

転作の協力だが組織のある農家(法人集落営農、認定農業者)は別だが、一般の農家にして見れば高い農機具を購入しているのだから少しでも自分の機械を利用出来る作物であれば転作に協力する農家も居ると思う。

自分も認定農業者として転作に大豆を作付して

いるが大豆用の機械がないので耕起以外はすべて大豆組合に委託している。

転作助成金は作業代金を支払すれば助成金はほとんど残らない。バイオ燃料等で輸入作物が不足し畜産飼料が高くなっていく主食にならない飼料米の作付にも大豆、麦、牧草なみの助成金があれば飼料米が安くても自分の農機具を利用できれば一般農家でも転作に協力する農家が居ると思う。



榎尾龍子さん  
仙北市田沢湖生保内

### 一般質問をふり返る

「私達の目の前から病院が消える。」との不安におびえ、議会傍聴に行きました。二日間のいろいろな質問のうち、特に病院関係に対する一般質問に立たれた議員の方々の熱意に対しては、さすが、私達市民の代弁者で

ある事に、頭の下がる思いでした。しかし、議員の方の厳しい質問に対しての市長よりの答弁は、財政と、医師の招へい難との説明でした。その事についての活動状況・努力などは、行動なされたお話しは残念ながら聞く事が出来ませんでした。市長は、病院に対する委員会検討した結果何回となくお話ししましたが、この様な大切な話し合いを委員会に諮問していいの

最終決定責任は、市長の決意なものでないでしょうか。最後に市長より、「まだ決まったわけではない」と、はっきりのべられました。我々は、まだ諦めるのは早い、行政のお力添えのもと、現在の病院の継続と救急指定病院の復活を求め、市民の安全、安心と、多くの観光客の方に来て頂けます様、議員の皆様と市民一体になり努力したいと思っております。

- 
- 
- 
- 
- 
- 



安杖清孝さん  
仙北市角館町八割

### 臨時駐車場料金問題

問 青柳議員の質問は平成19年度桜まつりの臨時駐車場の料金をどのよう

に扱ったか、という質問だったが…。

安杖 観光協会が実施してきた事業を仙北市が行ったことはわかったが、料金の扱い方についてはよくわからなかった。

問 観光課の事業は一般会計で処理し、実行委員会は補助金等を使って会計処理する。これを観光課職員がごちゃ混ぜの経理をしたということだ。

安杖 シルバー人材センターへ支払った113万6900円がどうこう言っていたが、実行委員会で払うものか、観光課で支払うお金か。

問 駐車場の料金収入は一般会計に入る。その支払いは市が行なう。

職員は実行委員会のお金で処理しようとしたが、お金がなかったためお祭り実行委員会のお金を一時借用して支払った。

このお金の返済に、一般会計に入れるべき駐車場料金を少しずつ別の口座に寄せて88万円と職員の旅行積立25万6900円をこれに充てた。

安杖 大体の内容については解ったが、チエツク機関の議会はこのことについてどのようにするか。

問 議長職権で議会最終日に、市長の監督責任を問う決議と98条事務検査特別委員会を設置して検査を行なっている。

## 市民の皆様へ

次回の定例会は  
12月上旬の予定です。  
ぜひ傍聴に来てください。